

2022年1月6日 観光庁 大野観光地域振興部長インタビュー



観光庁 大野観光地域振興部長

- ・平成4年3月東京大学卒業
- ・平成4年4月運輸省入省
- ・令和元年7月国土交通省鉄道局総務課長
- ・令和2年7月観光庁総務課長
- ・令和3年7月観光庁観光地域振興部長

岩尾専務)

本日は貴重なお時間をいただきありがとうございます。当協議会のスノーリゾート向け情報発信の一環として、御庁のスノーリゾートについてのお考えやスノーリゾート関係の予算についてお聞かせいただければと思います。まず、観光振興におけるスノーリゾートの役割についていかがお考えでしょうか。

大野部長)

スノーリゾートは、国内外の旅行者が減少する冬季の観光資源として期待されています。日本のパウダースノーは外国人から高い評価を得ており、貴重な観光資源になります。スキーのみならず、温泉、食、文化財、広域観光、また、雪遊び等々のコンテンツと組み合わせるなどして、地方での長期滞在、消費の拡大につなげて行ければよいと思います。また、今年は北京で冬季オリンピックが開かれます。これを機会に中国でもスキーなどスノースポーツへの関心が高まるのではないかでしょうか。コロナが収まれば、多くの方がスキー、スノーボードを楽しむために訪日されることが期待されるため、今のうちに受入体制を整えておくことが肝要です。



岩尾専務)

御庁の来年度予算を見せていただいたとき、
「国際競争力の高いスノーリゾート形成促進事業」の
予算が1百万円となっていました。
どういうことでしょうか。



大野部長)

国際観光旅客税の税収見込みが大幅に減額されました（約300億円が約80億円）。
その関係で、来年度の当初予算で行う事業は大幅に見直しをせざるを得なくなり、スノーを含めた複数の事業が事実上事業項目を残すだけになっています。他方で、補正予算の「訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業」において約100億円を確保し、その一部を活用しスノーリゾートの整備についても支援することとしており、今年度よりは厳しくなりますが、是非この予算を活用し、今のうちにインバウンド受入体制の整備等を検討頂ければと思います。

岩尾専務)

それをお聞きし安心しました。スノーリゾート関係者にその旨伝えたいと思います。
ところで、GoToトラベル事業はいかがでしょうか。
関係者の期待も大きいですし、また、スノーリゾートは営業時期が限られていますのでできるだけ早期にお願いします。



大野部長)

オミクロン株による市中感染の発生が各地で明らかになっており、今後最悪の場合、感染拡大が急速に進むことを想定すべき状況にあると承知しています。新たなGoToトラベル事業を含め、今後の観光需要喚起策の実施については、オミクロン株の状況も含めた感染状況等を確認したうえで、専門家の意見を踏まえて検討してまいりたいと考えています。

岩尾専務)

インバウンドの比重が高いスキー場もあり、我々にとりましては、インバウンドの早期再開が喫緊の課題でもあります。このままでは、せっかく増えてきたオーストラリアのスキーヤーがカナダに取られてしまうという懸念もあります。オミクロン株の問題もあり先が見通せない中ではありますが、諸外国の動向も見つつ、手遅れにならないよう適切な対応をお願いします。



大野部長)

水際措置については段階的な見直しが進められてきましたが、その後のオミクロン株の発生により再び強化され、ワクチン接種者に対する入国後の行動制限の見直し等の緩和についても現在停止されています。オミクロン株の状況がまだ不透明であり、今後のインバウンドの見通しを立てるることは難しい状況ですが、今後の政府全体での水際措置に関する段階的な見直しに応じて、インバウンドをどのように迎えることができるか、検討してまいりたいと考えています。

岩尾専務)

最後になりますが、スノーリゾートの課題、また、スノーリゾートに望むものについてお考えをお聞かせください。



大野部長)

スノーリゾートのポテンシャルは非常に高い。それを生かすためには、地域の多様な関係者による一体的な取組が必要です。老朽化したリフト等の更新に加え、利用者の目線で、例えば、共通リフト券の発行、ICT化、アフタースキー、ナイトライフの充実等、利便性を向上させ、魅力づくりをして行くことが必要です。また、リゾートとしての収益を高める観点からは、グリーンシーズンを含めたコンテンツ開発も大事です。これらの課題解決には、地域の司令塔としてDMOの役割が重要ななると思います。

岩尾専務）

本日はどうもありがとうございました。当協議会といたしましては、今後ともスノースポーツやスノーリゾートの皆様のお役に立てるよう活動を続けてまいりますので、これからもよろしくご支援お願ひいたします。



写真（右から）：

観光庁観光地域振興課 河南課長／協議会 岩尾専務／観光庁観光地域振興部 大野部長／協議会 神田副会長／協議会 河野常務

※このインタビューは、2022年1月6日に実施されたものです。